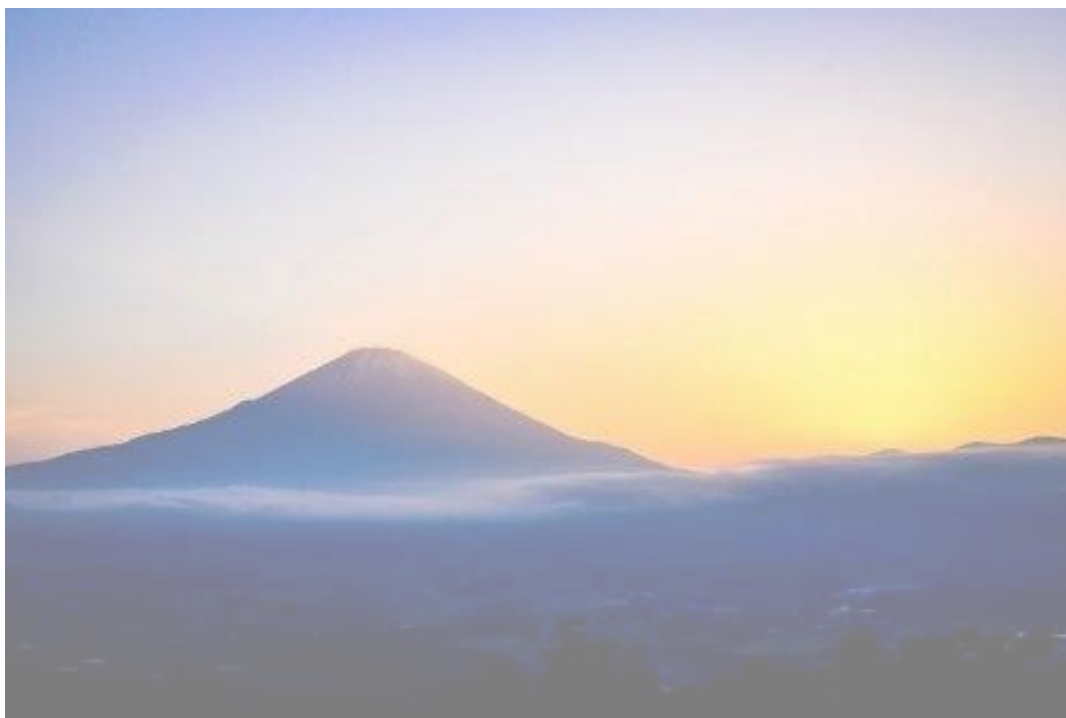


# 第3次小山町観光振興計画 概要版

(2026～2030)

## 富士を望む伝説のまち おやま

Oyama, the town of legend at the foot of Mt. Fuji



令和8年3月

小山町

# 第1章 観光振興計画について

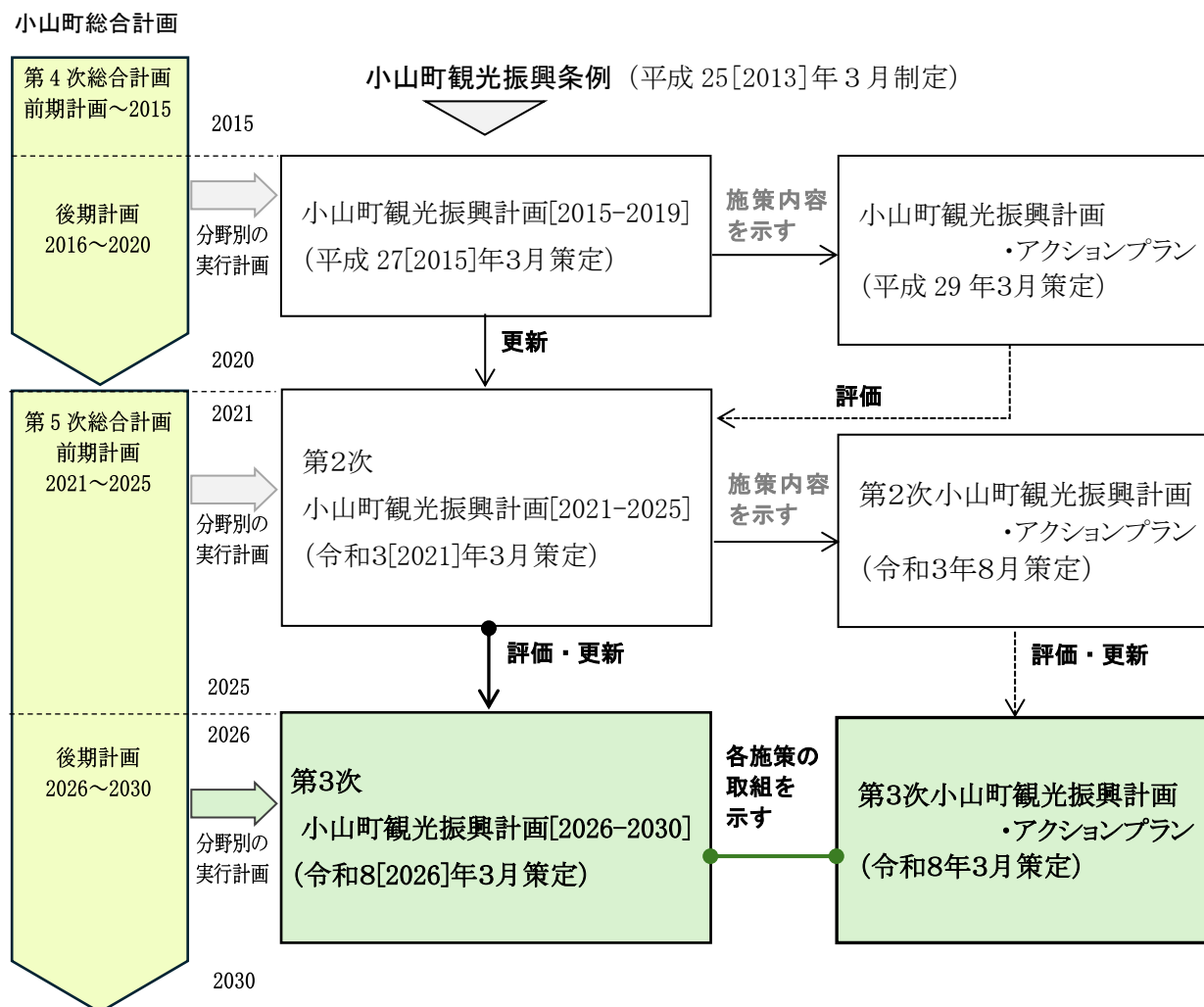
## 1 観光振興計画の目的

- 本計画は、第5次小山町総合計画（後期基本計画）を上位計画とし、コロナ禍からの回復、インバウンド需要の増加、そして劇的な交通アクセスの向上という好機を捉え、「量より質」を重視した持続可能な観光地づくりを目指すものです。
- 本計画書に記述している施策について、具体的に取り組んでいく（活動していく）施策内容を「第3次小山町観光振興計画・アクションプラン」（別冊）として作成します。

## 2 総合計画・観光振興計画・アクションプランの関係

- 第3次小山町観光振興計画は本町の最上位計画である「第5次小山町総合計画（後期基本計画）」の“分野別の実行計画（観光分野）”として位置づけています。
- 第3次小山町観光振興計画・アクションプランは、「第3次小山町観光振興計画」の各施策の取組内容（施策内容）を示しており、できる限り毎年度の進捗が確認できる項目（目標指標）を設定しています。

《総合計画・観光振興計画・アクションプランの関係図》



## 第2章 小山町観光の現状と課題

本町は富士山や富士スピードウェイ（以下、F S W）を核に訪日客の滞在が増加中であり、二次交通の不足による周遊性の低さや、大規模集客施設への依存が課題です。今後は高付加価値な体験提供を通じた「量」から「質」への転換が急務となっています。

<b>1. 「富士山」「金太郎」「富士スピードウェイ」を核とした誘客</b>	
現状：富士登山者は令和6年度にはコロナ前の9割程度まで回復、F S W周辺の「富士モータースポーツフォレスト」開発による富裕層・訪日客が急増	課題：須走ルート of 安全対策（動線分離、多言語対応）、交通混雑への対応、観光ポテンシャルの町内への波及
<b>2. 広域移動に対応した受け入れの充実</b>	
現状：新東名高速の開通や小山スマートインターチェンジ（以下、S I C）の開設による利便性向上	課題：三島駅等からのアクセス手段、町内二次交通の不足による周遊性の低さの解消
<b>3. おもてなしの環境整備</b>	
現状：インバウンド需要と富裕層の宿泊利用が増加	課題：W i - F i や多言語表記の拡充、観光人材の確保と事業継承、町民のおもてなし意識の醸成
<b>4. コロナ後の観光のあり方の構築</b>	
現状：インバウンド来訪者の宿泊、富裕層の長期滞在が増加傾向	課題：高付加価値な体験メニューや健康・美容をコンセプトとしたツアーの開発
<b>5. 幅広い視点での誘客</b>	
現状：周辺の観光地を合わせて周遊する来訪者が多い、フィルムコミッションのロケ実績が増加傾向	課題：周辺自治体との広域連携、作品の聖地巡礼などの情報発信による誘客の促進
<b>6. スポーツツーリズムへの展開</b>	
現状：トレッキング、ゴルフ、サイクリスト、スポーツ合宿の需要がある	課題：トレイルコースの整備、宿泊ゴルフパック、東京2020レガシーの位置づけ等の取組
<b>7. 官民・産業間の連携による「稼ぐ力」</b>	
現状：令和7年7月に「株式会社まちづくり公社おやま」を設立し、登録DMO <sup>1</sup> を目指している	課題：大規模集客施設への依存からの脱却、経営的視点を持った滞在型メニューの開発
<b>8. スマートフォン等を活用した対応の充実</b>	
現状：スマートフォンによる情報入手、決済の急速な普及、一部ホームページや観光地案内が多言語化に対応	課題：町全体での観光D X（多言語オーダー、キャッシュレス決済等）の推進と観光情報のリアルタイム更新

<sup>1</sup> DMOとは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定し、着実に遂行する機能を備えた観光地域づくり法人のことです。

## 第3章 基本構想

基本目標「富士を望む伝説のまち おやま」の実現に向け、3つの基本方針と28の施策を展開します。

### 基本目標：富士を望む伝説のまち おやま

Oyama, the town of legend at the foot of Mt. Fuji

#### 基本方針1 富士山交流観光 プログラム

- 1：須走口五合目の魅力を高めます
- 2：登山者などへの対応を充実します
- 3：須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用します
- 4：富士山の眺望スポットを整備します
- 5：富士山巡拝の道プロジェクトを進めます
- 6：富士山の環境保全を観光振興につなげます
- 7：美化活動を進めます
- 8：観光地の危機管理対策を構築します

#### 基本方針2 元気にぎわい観光 プログラム

- 1：金太郎をシンボルとした観光活性を図ります
- 2：富士スピードウェイ（FSW）周辺への誘客を拡大します
- 3：スポーツによる誘客を進めます
- 4：農のある暮らしをにぎわいに活かします
- 5：自転車による観光振興を進めます
- 6：自衛隊との連携による観光振興を進めます
- 7：観光関連資産を活用します
- 8：新たな観光スポットを整備します
- 9：ハイキングコースを活用します
- 10：ロケ地としての強みを活かして知名度を高めます
- 11：祭りを誘客につなげます

#### 基本方針3 観光インフラ整備 プログラム

- 1：シティプロモーションの充実を図ります
- 2：おもてなし人材による着地型観光を充実します
- 3：インバウンドへの対応を強化します
- 4：観光情報（観光DX）の基盤を整えます
- 5：観光交通基盤を整備・活用します
- 6：広域連携を推進します
- 7：特産品・名産品の充実を図ります
- 8：“小山町”をエリアとしてアピール・ブランド化します
- 9：DMOを設立し観光地域づくりを推進します

## 第4章 基本計画

### 基本方針1 富士山交流観光プログラム

#### 施策1 須走口五合目の魅力を高めます

1. 富士山須走口インフォメーションセンターの充実
2. 登山者動線の確保
3. ふじあざみラインの道路改良の推進



富士山須走口インフォメーションセンター

#### 施策2 登山者などへの対応を充実します

1. 登山案内及び指導の強化
2. 須走ルートの魅力の紹介
3. 須走流登山スタイルの確立

#### 施策3 須走口五合目散策コース・富士箱根トレイルを活用します

1. 須走口五合目散策環境の整備
2. 五合目散策ツアーの開催
3. 富士箱根トレイルの管理
4. トレイル散策の魅力向上
5. 散策コースの魅力の情報発信

#### 施策4 富士山の眺望スポットを整備します

1. 富士山眺望スポットの充実
2. 案内看板の整備・案内マップの作成

#### 施策5 富士山巡拝の道<sup>2</sup>プロジェクトを進めます

1. 巡拝の道のルート・ポイントの整備
2. 巡拝の道散策トレッキングの推進
3. “御師のまち須走”の推進
4. “すばらしり隊”人材養成の推進
5. 富士浅間神社を中心とするお山開き・お山仕舞の推進
6. 須走のまち景観の保全と形成

#### 施策6 富士山の環境保全を観光振興につなげます

1. 富士山と調和する景観づくり
2. 富士山における環境学習の場の提供
3. マイカー規制の実施
4. 富士山環境ツアーの開催
5. 富士山噴火で埋もれた集落の魅力構築

#### 施策7 美化活動を進めます

1. 富士山清掃の実施
2. 登山者マナーの向上

#### 施策8 観光地の危機管理対策を構築します

1. 安全・安心な観光環境の提供
2. 危機管理体制のある観光地づくり

<sup>2</sup> 富士山巡拝の道とは、富士山への信仰に基づき、山頂への登拝、各地からの遥拝、山麓の霊地巡拝を再現した道です。足柄峠から富士山須走口五合目までのルートが「富士山巡拝の道」として整備されています。

## 基本方針2 元気にぎわい観光プログラム

---

### 施策1 金太郎をシンボルとした観光活性を図ります

---

1. 金太郎シンボルデザインの活用
2. 金太郎商品のブランド化
3. 金時公園の活用
4. 金太郎を活用した広域連携の推進
5. 相撲大会の継続開催
6. 金太郎伝説ゆかりの地のPR・紹介

### 施策2 富士スピードウェイ（FSW）周辺への誘客を拡大します

---

1. 富裕層等への誘客拡大
2. モータースポーツイベントへの協力
3. 富士スピードウェイとの連携



WEC 富士6時間耐久レース

### 施策3 スポーツによる誘客を進めます

---

1. スポーツ大会などの誘致・拡充
2. ゴルフ場を活用した誘客の推進
3. スポーツ合宿の推進

### 施策4 農のある暮らしをにぎわいに活かします

---

1. 農産物の活用・農産物直売所の整備
2. 農家民泊の試み
3. 農業体験の推進
4. 林業体験の推進

### 施策5 自転車による観光振興を進めます

---

1. 自転車大会の拡充
2. 「サイクリストにやさしいまちづくり」の推進

### 施策6 自衛隊との連携による観光振興を進めます

---

1. 自衛隊イベントを通じた町のPR
2. 町内イベント等への参加依頼

### 施策7 観光関連資産を活用します

---

1. 道の駅の活用
2. 温泉資源の活用
3. 歴史文化遺産の活用

### 施策8 新たな観光スポットを整備します

---

1. ホタルの里づくり
2. 北郷の森の整備
3. 産業観光の提供

### 施策9 ハイキングコースを活用します

---

1. 足柄古道などの活用
2. 市町村連携によるハイキングコースの活用
3. おやま逸話集(ストーリー)の作成・拡散

### 施策10 ロケ地としての強みを活かし知名度を高めます

---

1. ロケ地の発掘・整備と活用
2. 映画祭の開催
3. ロケの誘致

### 施策11 祭りを誘客につなげます

---

1. 祭り文化の伝承とPR

## 基本方針3 観光インフラ整備プログラム

### 施策1 シティプロモーションの充実を図ります

1. 旅行会社への観光資源の紹介
2. 首都圏などで開催される展示会への参加

### 施策2 おもてなし人材による着地型観光を充実します

1. 観光ガイドの育成
2. 次世代を担う人材の育成
3. 小山町観光検定の実施
4. 小山町観光親善大使の認定

### 施策3 インバウンドへの対応を強化します

1. インバウンドに対応したプログラムの開発
2. 外国人観光客へのおもてなしの充実
3. 外国語表記の充実



外国語版パンフレット

### 施策4 観光情報（観光DX）の基盤を整えます

1. 総合的な観光情報の集約・発信
2. Wi-Fiスポットの整備
3. ネット予約・決済環境の整備促進

### 施策5 観光交通基盤を整備・活用します

1. 季節運行バスの利便性向上
2. 小山PA・足柄SA周辺の整備
3. ユニバーサルデザイン化・観光サインの見直し
4. 鉄道駅の拠点性の向上
5. 公共交通による観光資源へのアクセスの改善

### 施策6 広域連携を推進します

1. 広域ネットワークによる取組の推進
2. 金太郎にちなんだ交流の活性化

### 施策7 特産品・名産品の充実を図ります

1. 道の駅・足柄SA・小山PAにおける販売促進・PR
2. インターネットを活用した販売促進
3. ご当地グルメの開発

### 施策8 “小山町”をエリアとしてアピール・ブランド化します

1. 地域ブランドの構築
2. 観光におけるブランドイメージの確立
3. 観光ストーリーを整える

### 施策9 DMOを設立し観光地域づくりを推進します

1. 町内観光の実態把握
2. 戦略的観光プロモーションの実施
3. 登録DMO設立
4. ふるさと納税による観光活性方策の試行
5. 宿泊税導入の研究・検討

## 第5章 計画推進について

### 推進体制

- 小山町、小山町観光協会、商工会、まちづくり公社おやまが推進体制の中核となって、事業者（観光事業者、旅行事業者、農林事業者、商工事業者、交通事業者、マスコミ など）、住民・団体等（町民、自治会、コミュニティ組織、NPO法人、ボランティア団体、学校、自衛隊 など）の協力を得て、協働体制により取組を進めます。
- 静岡県、富士山周辺市町村、近隣市町村（御殿場市、南足柄市、山北町、山中湖村、箱根町など）との連携による取組を進めます。

### 推進体制のイメージ

